



# しらかば

上田市立菅平小学校 学校だより 平成27年10月22日(木)

昨日の校長講話では、善悪の判断や誠実ということにかかわってのお話をお聞きしました。

## 【「どろぼうの親子」～ふきのとうの饞別（毛涯章平）より～】

だいぶ寒くなりました。こぶしの木の葉も今は半分以上落ちています。周りの山々の紅葉がとても美しいですね。今日は、「どろぼうの親子」というお話をします。

～本文～

あるところにどろぼうがいました。昼間は仕事もせずに、家にごろごろして、夜になると、村や町に出かけていくのです。そうして畑から、お百姓さんが一生懸命育てた作物を盗んできたり、人の家の台所から、こそこそと食べ物を盗んできたりしていました。



このどろぼうには一人の男の子がいました。まだ小さかったので、お父さんがどんな仕事をしているのかは、何も知りませんでした。

ある夏の、月の明るい夜の事です。どろぼうは「今夜は子どもを連れて行って、見張りをさせながら、どろぼうのやり方を教えておこう。」と考えました。今夜は、川向こうのスイカ畑へ盗みに行こうと考えていたので、「今夜はいいところへ連れて行ってやるから、ついてこい。」と言うと、自分は大きなかごを背負って先に立って出かけました。

スイカ畑に着いてみると、月明かりで大きなスイカがいくつもいくつも見えました。どろぼうは男の子に「父さんはあそこに行ってスイカを盗ってくるから、おまえはここにいて、よく見張りをしてるんだ。」「もし誰かが来たら、クシャミをして合図をしろ。」と、言いつけて、自分はそっと畑の中に入って行き、スイカを取り始めました。

しばらく取ってから、どろぼうは、子どものいる方を振り向くと、「おい、誰か見ていないか？あたりを見回してみる。」と、しわがれ声で言いました。



子どもは言われたとおり、伸び上がって見回していましたが、あどけない声で答えました。

「父ちゃん、だれもいないよ。だけど、お月様が見ているよ。」

どろぼうはこれを聞くと、はっとして、思わず、かごの陰に顔を隠しました。頭から冷たい水を浴びせられたような気持ちで、しばらくじっとしたままでした。その丸くすぼめた肩が、小さく震えているようでした。

やがてどろぼうは立ち上がると、さっき盗ったスイカを一つ一つ丁寧に、畑に返し始めました。そうして、恥ずかしそうにうつむいて畑から出てくると、黙って男の子の手を引いて急いで家に帰りました。とてもお月様のお顔を見ることはできませんでした。

次の日から、このどろぼうはぶつぷりと盗みをやめて、毎日せっせと働くようになりました。こういうお話です。

さあ、皆さん、このお話では、どろぼうのお父さんは、「人の物を盗むことは悪いことだけど、誰も見ていなければいいんだ。大丈夫だ。」と考えて、スイカを盗もうとしたんだね。でも、子どもが「だけど、お月様が見ているよ。」と言うと、はっとして、盗むのをやめましたね。子どもから「誰も見ていなくても悪いことは悪いことなんだ。」と教えられたんだね。

皆さんは、どうですか。学校やおうちでの約束事でも、「誰も見ていないからいいや。やっちゃえ。」という気持ちになったことはありませんか。

校長先生は、このお話から皆さんに二つのことを学んで欲しいと思いました。



一つは、「誰も見てないから」とか「見つからなければ」と考えて、いけないことをしてしまう。それは、本当にいけないことだということ。「誰も見ていなくても、悪いことは悪いこと」なんです。

日本では昔から「お月様が見ているよ」という他にも、「お天道様（太陽のこと）が見ているよ」「天の神さまが見ているよ・・・そんなことすると、罰があたるよ」というような言葉で、いけないことをしようというときには、「それをやっていいのかな。ちょっと考えなさいよ。」と子どもたちに教えてきたんです。心にブレーキをかけることが大事なんです。

もう一つは、「いけないよ」と言われたときは、誰に言われてもきちんと話が聞けるかどうかです。

このお話のどろぼうは、小さな男の子の言うことをちゃんと聞き入れました。自分より小さい弱い子どもの言うことが正しかった。自分より小さな人に言われると「うるさい」なんて言って、ごまかしてしまうことが多いと思いますが、実は正しいこともあるんです。それで助けられることもあるのですね。

「菅平小学校の皆さんは、いつも良いことをして人から感謝される人でありたい」ですね。

皆さん、教室やお家でお話ししてみても、思ったことや感想があれば校長先生に教えてください。これで今日のお話を終わります。最後まで聴いてくれてありがとう。

「お月様が見ている！」

良心、それは自分の心の神さま

「誰が見ていなくても、悪いことは悪いこと」

「心にブレーキをかけることが大事」

「誰に言われても話が聞ける」

## 【子どもたちの感想

### ～校長先生のお話を聞いて私はこんなことを考えました～

- かくれて悪いことをするのはよくないことだと、私は思いました。人の心は、ゆうわくに負けやすいので、悪いことをしがります。でもゆうわくに負けずに、悪いことをしないようにしたいです。
- ぼくは、ほかの人が見ていなくても自分自身が見ているということを話してくれたのだと思いました。ぼくも自分自身をだまそうとせず、ちゃんとがんばってやろうと思いました。でも人間は、うそをついてしまうから、それをがんばってへらそうとしてみようかなと思いました。



## 第58回校庭大運動会の一コマ

運動会での盛大な応援をありがとうございました。  
おかげさまで小学生も中学生も、持っている力を出し切り、充実した一日となりました。

